

つやむら (Flashing)

1. 現象

仕上がり塗膜面が所定の光沢で均一でなく、つやのあるところ、無いところができる現象を言う。(光沢低下の項も参考にする。)

2. 原因

a. 下地によるもの

下地の塗膜の凹凸や膜厚の不均一のため上塗り塗料を塗布した際、吸い込みむらを生じる。またエアレス塗装をした場合、スプレーダストが付着した状態で次工程を塗装した場合はダスト部に塗料が吸い込まれるためつやむらとなる。

b. 上塗りによるもの

上塗り塗装時、膜厚が均一でないため塗り重ね部分などでつやのむらを生じる。

3. 調査方法

a. 下地塗膜の凹凸や膜厚が均一でない場合は膜厚計で塗膜厚のバラツキを測定する。またダストによる場合は目視または雑巾で塗膜を拭いてみて、ダストの有無を調べる。

b. 上塗り塗膜が均一でない場合は、膜厚計にて塗膜厚を測定する。

4. 対策

a. 下地塗膜に凹凸がある場合は、サンドペーパーなどで研磨し、膜厚不足の場合は再塗装する。

b. ダストがある場合は、マジクロンなどでダストを除去し、塗装する。

c. 上塗り塗膜が不均一であった場合は、再塗装する。